

「安倍元総理暗殺説を検証。スナイパーがいた？状況的、
常識的にそれは考えにくいだろう」

令和4年7月26日

●ウッキーさんからの質問

安倍総理の暗殺について、桜で水島社長と林千勝先生が対談しています。二人の推測は、山上容疑者以外の何者かが（ビル等の）上から安倍総理を撃ったというもので、私もそう思います。今回の件は不自然なことだらけで、山上容疑者個人でやれるような事件では全くないように思います。どんな力が働いていたのか、これを追及するのが国会議員の仕事と思いますが、あまり目立ったことをやっても安倍総理と同様に消されてしまうでしょうか、西田先生にお願いするわけにもいきませんが、何とか事実の解明をできないものでしょうか。よろしくお願いします。

●西田昌司の答え

私は、スナイパー説はかなり考えにくいと思います。

安倍元総理が撃たれた映像を YouTube で見ましたが、もしもスナイパーが撃ったのであればどうやって音合わせをするのかという疑問が残りますし、大勢の聴衆がいる中でそのようなことをすれば、何らかの証言や映像として挙がってくるはずですが、そのようなものは今のところありません。

ケネディ大統領の暗殺の場合、スナイパーが、かなり離れた距離のビルの窓から撃ったという説がありますし、背後に CIA がいたということが今ではよく言われています。しかし、日本には CIA のような機関はありません。

西大寺駅での安倍元総理の選挙応援演説は、事件の前日の夕方に急遽決ま

りましたし、奈良が終わったら次はすぐさま京都の予定でした。私は週の始め（7月4日頃。安倍元総理が撃たれたのは7月8日の金曜日）に安倍元総理に連絡をして、京都の応援をお願いしました。安倍元総理は「京都は大丈夫なんじゃないの？」とおっしゃっていましたが、週末の調査で維新の候補者が追い上げてきてかなりの接戦となっていることを伝えて、多忙にもかかわらず何とか京都に来てもらえることになったのです。

京都には、安倍元総理だけでなく、岸田総理や茂木幹事長も一緒に来られる予定で、我々は7月8日の朝刊に周知の広告を出しました。また、後から聞いた話によりますと、7月8日は元々は長野に行かれる予定でしたが、長野の候補者のスキャンダルが出たために、長野の側から安倍元総理の応援を遠慮したとのことでした。

もしもスナイパーが暗殺計画を練るのであれば事前の相当な準備が必要ですが、奈良行きの情報が自民党のHPに公開されたのは事件の前日の夕方ですし、このように状況が目まぐるしく変わる状況において準備が出来たとは思えません。

山上容疑者がスナイパーと連携をとっていたとなると（個人的ではなく）組織的な犯行ということになります。日本に安倍元総理を狙う組織があるのでしょうか。山上容疑者は、かなり執拗に安倍元総理を狙うための準備をしていたようですし、頭のおかしな人です。お母さんが統一教会に多額の献金をして自己破産をしたことの恨みが（お母さんや統一教会にではなく、単に統一教会にビデオメッセージを寄せた）安倍元総理に向かうのも訳が分りませんし、そんな人間を取り込む何らかの組織を想定するのは無理があるでしょう。

山上容疑者のようなおかしな人間は残念ながらいつの世にもいるものですが、きちりとした警備体制を敷いていれば今回の事件は防ぐことができたはず。そもそも、西大寺の事件現場は無防備すぎますし、あのような場所で安倍元総理を立たせたこと自体が信じられません。

私が用意した京都の四条河原町の場所には、党本部の「朝風」という大きな街宣車を向かわせて、その周りを鉄板で覆っていますし、そもそも警備の人間が沢山いるので安倍元総理に近づくこともできません。山上容疑者が京都に来ていたとしても発砲には至らなかったでしょうし、仮に撃ったとしても安倍元総理が命を落とすことはなかったのです。

いずれにせよ、スナイパー説に関しては、現時点では非常に考えにくいと言わざるを得ません。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>